

# たんぽぽ通信



2002年3月18日

第22号

■発行 社会福祉法人 神東会  
特別養護老人ホームたんぽぽ苑

岐阜県吉城郡神岡町大字東町690番地の1  
TEL (0578) 2-6500 FAX (0578) 2-6531



お楽しみ会にて

人間誰しも健康で長生きしたいのは昔から最大の願望ですが、高齢者の一〇パーセント強の方はやむなく介護が必要になります。この人達に可能な限り希望を与えるために当苑では、施設の充実や実のある介護に努めています。

さてたんぽぽ苑の最高齢者は本年六月になると一〇〇才以上が男一人女三人そろい。一方入苑者の割合は男〇〇人に対し女四〇人、この比率は開設以来ほとんど変わっていない。人間誰しも健康で長生きしたいのは昔から最大の願望ですが、高齢者の一〇パーセント強の方はやむなく介護が必要になります。この人達に可能な限り希望を与えるために当苑では、施設の充実や実のある介護

人生八〇才時代などといつ

てますが、平均寿命で女は男より5才余長生きです。その理由として男の方が酒を飲む、煙草を吸う、道楽をする。何でも健康に悪い事をするから命を縮めるのだと…。

別の見方をすれば、男は家族を養うために生き過ぎ、社会に出れば敵も多い、職場の関係でストレスもたま

る。産業災害の犠牲になる事も多い、だから男は短命にならざるを得ないのだとの説もある。

これからは女性の社会進出が男なりになり平均寿命も男女差が縮まるかも知れない。

さてたんぽぽ苑の最高齢者は本年六月になると一〇〇才以上が男一人女三人そろい。一方入苑者の割合は男〇〇人に対し女四〇人、この比率は開設以来ほとんど変わっていない。

人間誰しも健康で長生きしたいのは昔から最大の願

望ですが、高齢者の一〇パーセント強の方はやむなく介護が必要になります。この人達に可能な限り希望を与えるために当苑では、施設の充実や実のある介護

# たんぽぽ苑忘年会



平成13年12月18日(火)

昨年とても好評を得ました職員の仮装も恒例となり、入居者の方々にたくさん参加して頂き忘年会が始まりました。

鍋物などを囲んでわいわい語って、たくさん食べて飲んで盛り上りました。

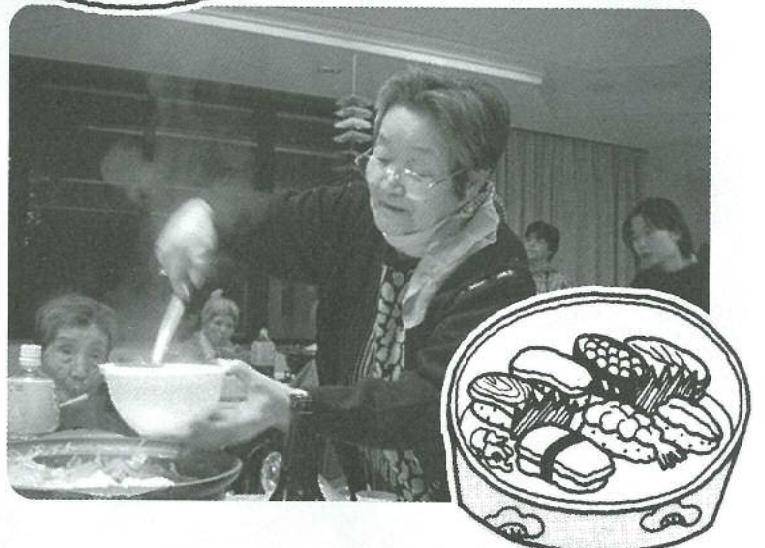
入居者の方でいつでも元気な方がさらに笑顔で「おいしい」と言って頂いたり、普段食欲の少ない方も忘年会の楽しい雰囲気で食欲が湧いたのか、忘年会が終わるまで会場に見え、たくさん鍋を食べていました。

お腹がいっぱいになった後は、ゲームをして楽しみました。

入居者の方の『おいしかった』と言う声や、『ありがとう』と言う言葉を聞いて大変うれしく思いました。

入居者の方々にも職員にとっても大変良い忘年会になったのではないかと思いました。

当るかな～



# もちつき大会

平成13年12月16日(日)

今年は入居者の方々にも頑張ってお餅をついて頂きました。

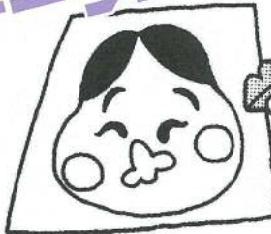
杵が重い為、職員と一緒につきましたが実際に自分で餅をついたことに満足されたかたも見えました。

みなさんがお餅をつくのに合わせて『よいしょー、よいしょー』と声をかけたり、手拍手をついたりして盛り上げてくださいました。

その後、ついたお餅を細い枝に丁寧につけて花餅飾りと少し大きめの鏡餅を作りました。



福笑い  
オリエンテーリング



平成十四年一月二〇日(日)  
今回のお楽しみ会はオリエンテーリングを行いました。入居者と職員のチームを数チームつくり、スタートで引いたクジの指示に従い苑内に設けたチェックポイントをまわりました。

各チェックポイントには福笑いや的当て、ロシアンルーレットなどがありみなさん大変喜んでみました。

お  
し  
み  
会



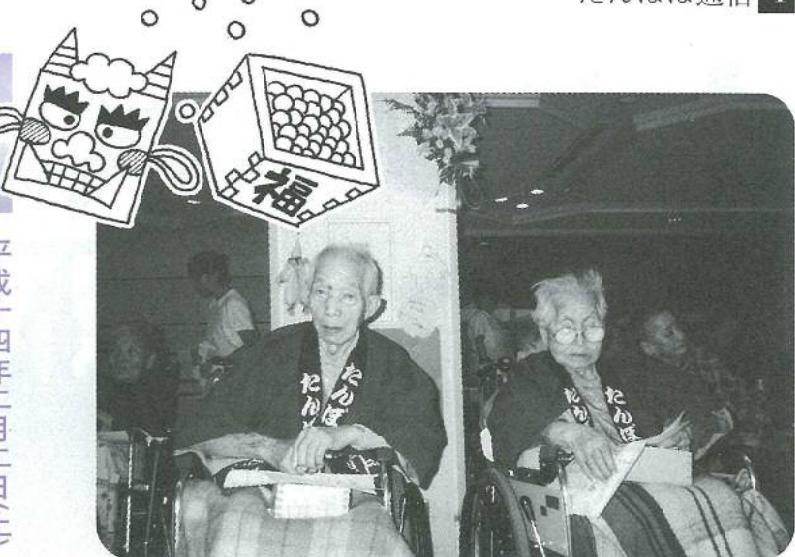
的当て



ロシアンルーレット

“入りは  
どうかな?  
がら”

# 節分祭



平成十四年二月二日(土)

年男、年女の方々の  
「鬼は外、福は内」

という掛け声で一齊に  
豆をまきました。

入居者の皆さんが豆  
をまいしているときの表  
情がとても活き活きと  
されていたのがとても  
印象的でした。

最後に春を迎える歌  
をみんなで歌い、これ  
でたんぽぽ苑の鬼は去  
り、福がやつてくるこ  
とでしょう。

最後に春を迎える歌  
をみんなで歌い、これ  
でたんぽぽ苑の鬼は去  
り、福がやつてくるこ  
とでしょう。

最後に春を迎える歌  
をみんなで歌い、これ  
でたんぽぽ苑の鬼は去  
り、福がやつてくるこ  
とでしょう。



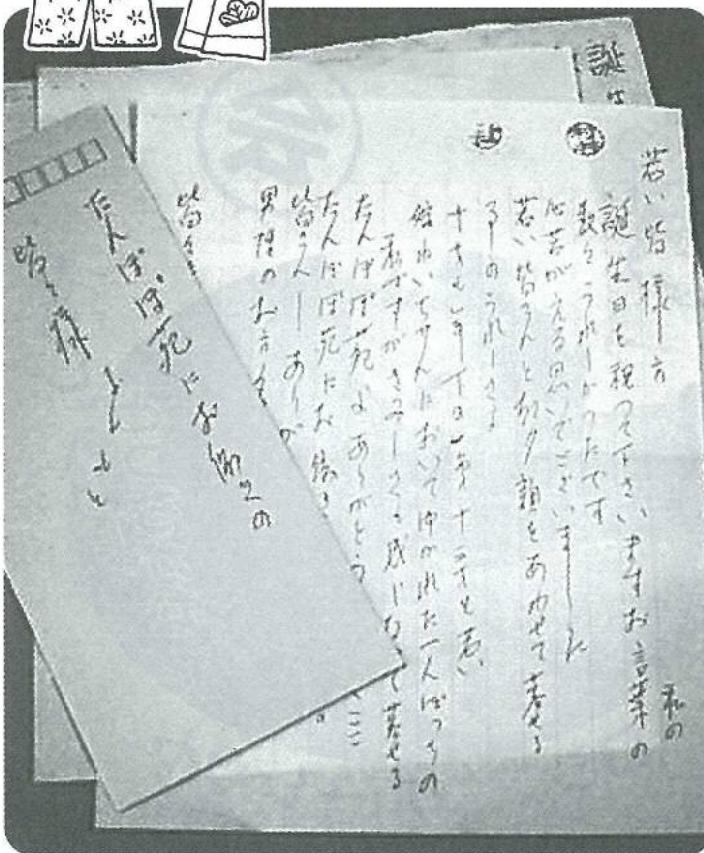
## 桃の節句

平成14年3月3日(日)

桃の節句に合わせて、職員によるお茶会を行いました。

お雛様の唄が流れる中、表千家と裏千家のお点前を披露し、春らしい茶菓子と点てたお茶を入居者の皆さんに振舞いました。

入居者の皆さんの中には普段ジャージ姿が多い職員が着物姿でお茶を点てているのを見て、驚いている方や感心している方も見えました。



入居者の方より  
お手紙頂きました。

入居者の桜井さんは誕生会や喫茶会、居酒屋など行事に参加された後いつもお礼の手紙を書いて下さいます。

入居者の方よりこういったお手紙を頂くととてもうれしく思います。

お手紙の気持ちにさらにお応えできるように職員一同頑張っていきたいと思います。

# ボランティア活動紹介



『ディッセンバー会』様



『神岡中学校1年生』様



『神岡保育園園児』様



『神岡東小学校2年生』様



『日赤奉仕団 寺林分団』様

今回もたくさんのボランティアの方々にご協力頂きました。

今回紹介させて頂いた以外にも、たくさんのボランティアの方々にご協力頂いております。

こういった善意なる活動によってたんぽぽ苑は支えられている事に感謝をし、皆様方のご支援に少しでもお応えできるようにこれからも頑張りたいと思っておりますので今後とも宜しくお願ひ致します。

